

近畿雑草研究会ニュースレター No.30

近畿雑草研究会

ご挨拶

代表 大橋 善之

今年度から本研究会の代表をつとめることになりました京都府の大橋善之です。私は、長らく京都府農林水産技術センターで米、豆類の生産性、品質向上に関する試験研究を行い、その中で水田や畦畔の雑草管理に関わってきました。2020年4月から中丹東農業改良普及センターに異動となり、現在は農業の担い手の確保と育成、持続可能な農村集落の基盤づくり、万願寺とうがらし等の京野菜の振興、水稻や小豆の水田農業の支援等、多岐に渡る業務に関わっています。雑草に関する研究には直接関わることが少なくなりましたが、農業の現場における雑草に関わる諸問題について、これからも研究会には提起していきたいと思っています。

さて、新型コロナウイルス感染症は収束する気配がなかなかみられず、社会活動に大きな混乱をもたらしています。各機関におかれましても様々な影響を受け、工夫をしながらの対応をされていることと思います。ワクチン接種も進んでいるようですが、その効果によりコロナ以前の生活に戻ることができるのか、まだまだ不透明なところが多いようです。本研究会では、今年度こそは、研究発表会や勉強会、見学会等も行いたいと思っていますが、新型コロナウイルスの状況によって、開催の有無、時期、内容等、オンラインでの開催も視野に入れて検討し

ていきます。開催できるようになりましたら、アナウンスをさせていただきますので、是非、会員の皆さまにはご参加頂きますようお願いいたします。

では、皆さまと雑草を通じた議論や交流が出来ることを楽しみにしております。今年度から2年間よろしくお願ひします。

1. 活動報告

(2) 研究会および総会

2020年度近畿雑草研究会を2020年12月5日(土)にオンラインで開催した。総会では、新型コロナウイルス感染症によるリスクを考慮した結果、本年度は本日の総会のみを実施し、講演会等は実施しないことを承認した。銀行の口座の届け出代表者を三浦先生(龍谷大)に変更する手続きをとることとした。本年度の活動のほとんどを休止することにもない、2020年度は会費を徴収しないことにすることを総会決議した。

2. 会計報告等

2020年12月5日(土)に京都大農学部で開かれた近畿雑草研究会総会において承認された2019年度の収支決算報告・会計監査報告ならびに2020年度の前算案を以下に転載します。

(1) 2019年度収支決算報告

(会計年度：2019年4月1日
～2020年3月31日)

収入の部	
科目	金額(円)
前年度繰越金	211,426
会費	17,000
利子	1
合計	228,427

支出の部	
科目	金額(円)
事務費	540
講演会講師旅費・謝金	60,000
講演会会場補助員謝金	4,000
合計	64,540

差引残高 163,887 円。

残金は次年度に繰り越します。

上記の通り、相違ありません。

2020年11月30日

庶務・会計幹事

岩上哲史 ㊟

(2) 2019年度会計監査報告

2019年度の近畿雑草研究会の会計に関し、会計帳簿、証拠書類(領収書、会費受付記録等)および預金通帳を検査照合した結果、収支とも適正に執行され、決算書に適正に表示されていることを認めます。

2019年12月1日

会計監査 大橋善之 ㊟

会計監査 中山祐一郎 ㊟

(3) 2020年度予算案

(会計年度：2020年4月1日
～2021年3月31日)

収入の部	
科目	金額(円)
前年度繰越金	163,887
会費	0
本学会助成金	0
合計	163,887

支出の部	
科目	金額(円)
事務費	2,000
予備費	161,887
合計	163,887

以上

発行 近畿雑草研究会

代表 大橋 善之

(京都府農林水産技術センター農林センター)

庶務・会計幹事 下野 嘉子(京都大学農学部)

E-mail : shimono.yoshiko.7s@kyoto-u.ac.jp

事務局 京都大学大学院農学研究科

雑草学分野

〒606-8502

京都市左京区北白川追分町